

24 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のために 単元構想

**こんな実践**

園で経験してきた砂遊びを学校の敷地で行い、使う道具や材料を工夫したり、友だちと関わったりしながら、砂遊びに浸りこんでいく子供の姿が見られた実践です。

実践学校 H小学校

実践学年 1学年

実施時期 6月

単元名 「水をつかって たのしくあそぼう」

単元を貫く問い：砂場をもっと楽しくしたい

学習指導要領との関連：内容項目（6）

働かせる見方・考え方：自分の思いや願いの実現に向けて試したり工夫したりすること  
育成を目指す資質・能力

知識及び技能の基礎	・身近な自然を利用した遊びを繰り返しながら、季節の変化や自然の特徴に気付く。
思考力, 判断力, 表現力等の基礎	・身近な自然のものを利用した遊びや, お砂場ランド作りの過程で, 試行錯誤を繰り返しながら, 工夫してつくることができる。
学びに向かう力, 人間性等	・自分の思いや願いを実現するためにお砂場ランド作りに対し働きかけ, みんなと楽しみながらよりよい遊びや遊び方を創り出そうとする。

○この時期になると、子供たちは学校生活に慣れてきて、周りの環境に興味をもち始めいきます。子供たちは学校の敷地にある砂場で、園で経験してきた水を使った砂遊びを行いました。穴を掘って水を貯めたり、半分に割った竹に水を流したりして、子供たちは夢中になって遊んでいきました。

○砂遊びの中で流れる水の様子を見て、「水をたくさん流したい」「水をまっすぐに流したいな」などと、子供たちが砂遊びに直接関わることで、自分の思いや願いを実現しようとしていきます。教師は子供たちの意識を大切にしながら、次のような単元を構想しました。



学習活動	予想される児童の姿	○支援
1 砂場で水を使って遊ぼう。(1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の時も遊んだよね。</li> <li>・川を作って水を流そう。</li> <li>・団子やケーキも作りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公園で遊んだ思い出から、自分なりの願いがもてるようにする。</li> <li>○水を使った自分の遊びを紹介し、次の遊びの見通しもつ。</li> </ul>
2 砂場の遊びをもっと楽しもう。(2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今度は大きな池を掘って水をためよう。</li> <li>・竹の棒を使って山の上から水を流そう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子供の発想を基に、使えそうな道具を準備する。</li> <li>○水を使った遊びの楽しさを伝え合い、もっと楽しむにはどうしたらよいか考える。</li> </ul>
3 お砂場ランドを作って遊ぼう。(3回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで、お砂場ランドにして遊ぼう。</li> <li>・みんなのお砂場ランドは楽しいね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お砂場ランドに向けて、作りたい遊び場ごとに進めていく。</li> <li>○お砂場ランドの楽しさを伝え合い、改善点や工夫点を発表する。</li> </ul>
4 スーパーお砂場ランドにして遊ぼう。(4回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと楽しいお砂場ランドになるようにしたい。</li> <li>・そうだ、スーパーお砂場ランドを作ろう。</li> <li>・友だちが作った所でも遊びたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後、お砂場ランドをどうしたいか話し合う場を設ける。</li> <li>○子供たちの意識から、遊び場を広げたり、数を増やしたりしていく。</li> <li>○スーパーお砂場ランドで楽しかったことを発表する。</li> </ul>
5 砂遊び報告会をしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな砂遊びができて楽しかったね。</li> <li>・ぼくたちのスーパーお砂場ランドに年長さんや2年生を招待したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽しかったことや工夫したことを発表し、スーパーお砂場ランドをこれからどうしたいか話し合う場を設ける。</li> </ul>

○ 1回目の砂遊びをした後に、子供たちが自分の遊びを紹介するという表現活動を行いました。子供たちは、友だちの遊びに、「すごいね」「ぼくもやってみよう」と次の活動に向かう意欲を高めていきました。2回目の砂遊びの後にも自分の遊びを紹介し合いました。自分たちの砂遊びが広がってくると、「お砂場ランド」が「スーパーお砂場ランド」になり遊びが広がっていきました。

次単元へのつながり

○自分たちの砂遊びに満足している子供たちに教師は、「砂遊び報告会」を位置付け、自分たちの砂遊びのよさや子供たちの気づきを自覚させていきました。その中で子供たちは、「今度は年長さんや2年生を招待したい」という新たな願いをもちました。

### 👉まとめ

- ・思考や表現などが一体的に行われたり繰り返されたりすることが大切です。思いや願いの実現に向けて活動する中で、具体的に考えたり表現したりすることによって、育成を目指す資質・能力として期待される子供の姿が表れていきます。
- ・伝え合い交流する活動の中で、一人一人の気づきが共有され、そのことをきっかけとして新たな気づきが生まれたり、関係が明らかになったりして、子供の学びが質的に高まっていきます。